

## 大阪大学経営協議会（平成25年度 第4回）議事要旨

日 時 平成26年3月18日（火）14時00分～16時00分

場 所 大阪大学中之島センター 9階会議室1・2

出席者 平野総長（議長）

大竹（伸）、川島、河田、川名、小林、近藤、佐藤、城野、竹内、手代木、中村、野村、森、恵比須、東島、馬場、相本、大竹（文）、大木、岡村、木村、掛下、金田、八木、森崎 各委員

欠席者 角委員

議事に先立ち、会議開催に必要な定足数を満たしている旨の報告があった。  
続いて、前回（11月25日開催）及び臨時書面審議の議事要旨については、既に各委員に照会し、内容を確定して本学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

### 議 事

#### 【議事】

##### 1 理事報酬額について

平野総長から、平成26年2月1日付けで新たに任命された理事の報酬額について、前任の理事と同クラスの報酬額としたい旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

##### 2 平成26年度年度計画（案）について

恵比須理事から、配付資料に基づき、本学の平成26年度計画案について説明があり、審議の結果、異議なく承認された。

##### 3 平成25年度予算補正（第2次）（案）について

大竹理事から、配付資料に基づき、収入見込額の増減差額を支出予算に反映させるための予算補正案について説明があり、審議の結果、これを承認した。

##### 4 平成26年度当初予算（案）について

大竹理事から、配付資料に基づき、本学の予算編成方針案、同方針に基づいて作成した平成26年度の予算配分基本方針案及び平成26年度収入支出予算案について説明があり、審議の結果、異議なく承認された。

##### 5 労働契約法の特例への対応について

大木理事から、配付資料に基づき、本学の労働契約法の特例への対応について説明があ

り、審議の結果、異議なく承認された。

#### 6 教職員の給与等について

大木理事から、配付資料に基づき、教職員の給与等について説明があり、審議の結果、異議なく承認された。

#### 7 平成26年度概算要求事項について

恵比須理事から、配付資料に基づき、本学の平成26年度概算要求事項について報告があった。

#### 8 大学に対する出資事業の進捗状況について

馬場理事から、配付資料に基づき、本学に対する出資事業の進捗状況について報告があった。

#### 9 副学長、総長補佐等の指名について

本学の運営体制に関し、副学長、総長補佐、理事補佐を指名したことについて、配付資料に基づき報告があった。

### 【意見交換】

#### 1 前回までのご意見に対する対応状況について

恵比須理事から、配付資料に基づき、前回の本協議会で学外委員からいただいた提案や助言に対する現時点での対応状況について報告があった。

#### 2 大阪大学へのご提言、ご感想

各委員から大阪大学に対する提言や感想を賜った。特に、学外委員から次のような意見があった。

##### (ご意見)

- ・ 文部科学省に大阪大学の卒業生が少ない。戦略的に、例えば毎年各省庁に2名程度のキャリア官僚を入れることを検討してみてもどうか。
- ・ 大学には、国からの制約が多くある。特に評価に関する業務が多すぎる。
- ・ 大学院のあり方がバブルになってきているので考えるべきである。
- ・ 外国語大学との統合時に無条件で定年が延長されたが、ポストクや若手教員からどのように見えるのか、権力を持っている者が物事を決めるときには十分に考えるべきである。
- ・ 数年前にステンレスボトルが学生に配られたが、基金をこのようなことに使うのはどうか、学生自身が自らのお金で買えばよいのではないか。
- ・ 外部資金を獲得することはよいことであるが、獲得した教員が疲弊しないように組織

として支援する仕組みが必要である。

- ・ アジアのゲートウェイでありながら、言語の専門家は東京地区に集中している。
- ・ 事務職員と教員とのパートナーシップが必要である。日本の大学の事務職員は少ない、事務職員はカリキュラムの編成に関わるべきである。
- ・ 基金 100 億円という目標では足りない。事務の体制が脆弱である。
- ・ キャンパスの一部を大阪市内に移すことを検討してはどうか。

#### 【その他】

##### 1 経営協議会委員の交替について

3月31日をもって本協議会の学内委員2名が配付資料のとおり交替することの報告があり、退任する委員の紹介があった。

##### 2 平成26年度の経営協議会開催日程について

平成26年度の本協議会の年間開催日程について、配付資料のとおり開催することとした。

(以 上)